

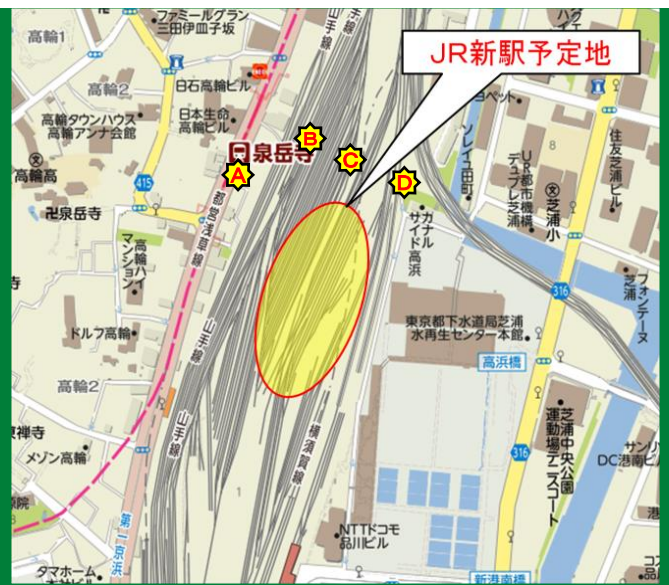
港区を歩く④

泉岳寺JR新駅予定地周辺

JR東日本が今年6月に、田町一品川駅間に新駅を建設すると発表しました。新駅は田町駅の南側1.3km、品川駅の北側0.9kmの場所とのことです。

今回は、都営地下鉄泉岳寺駅を起点に、新駅予定地周辺と、第一京浜国道をはさんで、新駅予定地の反対側にある泉岳寺周辺を歩きました。

東側の港南地区と西側の高輪地区は、線路で分断されています。両地区を最短で結ぶのは、線路をくぐる200mほどの道路ですが、これが圧倒的な印象を残す道路でした。



A 第一京浜国道側から眺めた港南地区のビル群



B 東西を結ぶ高さ1.5メートルの「高輪橋梁道橋」のガード下。交通量は意外に多く、タクシー等が次々に通る。



C 天井が極端に低く、頭を下げないと歩けません。全長200メートル強と長く、相当な圧迫感があります。



D ガードを抜けると、港南1丁目1番でした。

港区を歩く④ 泉岳寺JR新駅予定地周辺

新駅予定地は、鉄道高架の西側一帯ですが、沿線道路からは見通すことができません。

新駅予定地の東側一帯は、東京都下水道局の水再生センターの広大な敷地(約20ヘクタール)が広がっています。

仮に、新駅設置に併せて再開発されるようになれば、かなりの可能性を持った土地のように思われます。



E このあたりが新駅予定地の北端と思われます。



F 鉄道高架の向こう側一帯が新駅予定地ですが、道路からは見通せませんでした。



G 新駅予定地の東側は、東京都水再生センターの広大な敷地です。



H 水再生センターの一部は、上部が公園になっていて、写真奥の品川駅東口高層ビル群の方まで遊歩道が続いています。

港区を歩く④

泉岳寺JR新駅予定地周辺

泉岳寺の周辺は、新駅予定地とは異なり、落ち着いた住宅地です。マンション建設も進んでいました。

東側（第一京浜国道側）は低地、西側は尾根筋という地形で、泉岳寺、高野山東京別院など多くの寺院が点在する寺町でもありました。

撮影日：2014年10月20日、24日



I 泉岳寺の山門。このあたりはマンションが多く、山門左手にも8階建てマンションが建設中でした。



J 泉岳寺付近の住宅地



K 東側の低地と西側の尾根を結ぶ坂道。



L 尾根道にある商店街。はもの店がありました。